

大崎市社会 福祉協議会

事業計画・収支 予算のあらまし

平成19年度
収支予算

平成19年度

平成19年度
事業計画

〔支出〕 (単位:円)

項目	
法人運営事業	246,050,000
地域福祉事業	261,119,000
生活支援事業	776,000
地域包括支援センター事業	44,510,000
老人福祉センター運営事業	25,974,000
農村環境改善センター事業	702,000
授産施設事業	41,991,000
高齢者食の自立支援事業	5,259,000
高齢者等外出支援サービス事業	12,079,000
高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業	1,884,000
介護福祉サービス事業	2,262,733,000
予備費	3,000,000
特別会計	16,198,000
支出計②	2,922,275,000
予算収支差額①-②	48,092,000

〔収入〕 (単位:円)

項目	
会費収入	28,983,000
寄附金収入	1,183,000
経常経費補助金収入	146,541,000
助成金収入	1,572,000
受託金収入	66,337,000
共同募金配分金収入	19,579,000
負担金収入	32,548,000
介護保険収入	2,149,656,000
障害者自立支援利用料収入	130,732,000
利用料収入	4,181,000
雑収入	11,523,000
受取利息配当金収入	600,000
経理区分間繰入金収入	360,734,000
特別会計	16,198,000
収入計①	2,970,367,000

基本方針

社会福祉協議会は、地域福祉の推進役として位置づけられているものの、行財政改革やNPO法人・民間事業者等の福祉・介護部門への参入など、様々な事業主体との競合をしなければならぬという厳しい事業展開と経営状況下にありますが、その担うべき責務は益々重要なものとなっております。

大崎市社会福祉協議会は、昨年7月1日に1市6町の社会福祉協議会が合併し、9ヶ月間の合併初年度を終えることができました。この間、関係機関等のご支援・ご協力により、当初計画に基づき概ね順調に推移してきました。

平成19年度は新大崎市社会福祉協議会として、まさに本格的に始動する年であり、地域特性を踏まえながら更なる福祉の増進に努めていく所存です。

平成19年度予算の編成にあたって、事業を推進するため、厳しい財政環境の中で、経費の縮減に取り組みつつも効果的な事業の展開が図られるよう編成したところであります。今後も、地域福祉の中核を担う大崎市社会福祉協議会として組織・財政の両基盤の安定強化を図ります。さらには福祉活動やボランティア活動、各種福祉サービスや情報の提供、相談事業の充実、各種事業の企画・実施などに努め、加速化する高齢化と多様化する福祉ニーズに柔軟に即応できる体制づくりを図り、地域の特性に合った福祉サービスを提供できるよう努めていきます。

第27期
趣味の教室開講式



役員(理事)が変わりました

6月1日付で、次の方が就任されました。
(敬称略)

- 理事 石ヶ森 勉(行政機関)
- 理事 櫻田 開(鹿島台)

社協合併一年を経過して



社会福祉法人
大崎市社会福祉協議会
会長 森谷 尚生

昨年七月一日誕生した大崎市社会福祉協議会も一年が経過しました。改めて多くの市民皆様方、関係機関、団体の方々から賜りましたご支援、ご協力に感謝申し上げます。

さて初年度(平成十八年度)の事業推進に当たっては、それぞれの地域で積み上げてきた実績、特性を基盤とし、合併の利点を活かしながら住民参加のきめ細かな地域福祉活動の実施と、広い地域にあつて均一な、より良い介護サービスの提供に努めてまいりました。介護保険制度の改正、障害者自立支援法の施行等、福祉情勢の大きな転換期の中でしたが、関係機関等のご支援、ご協力によってお陰様で順調に推移できました。

しかし、合併後まだ二年、整理すべき課題等山積しています。平成十九年度は大崎市社会福祉協議会にとって正に本格的始動の年になりますので、基本方針に基づき今年度も大崎市全域にわたって調和のとれた福祉活動の推進につとめてまいりますので二層のご支援ご協力をお願いいたします。